第15回中四国臨床工学会×ひろしまバイオデザイン

医療・ヘルスケア機器開発ニーズ発表会

ニーズ発表者応募用紙

以下の項目について、できる限り記載してください。不明な点や、助言が必要な場合は以下までご相談ください。※ただし、採択を保証するものではありません。

第15回中四国臨床工学会事務局　Mail：csce15@letterpress.co.jp

**1次審査項目**

|  |  |
| --- | --- |
| ご所属、部署 |  |
| 氏名（フリガナ） |  |
| メールアドレス |  |
| ニーズ発表タイトル |  |
| ニーズの背景 | 背景をできる限り詳細に記載する。例）日本における花粉症患者は年間●万人いて、手術に至る患者は●万人で〜 |
| ニーズの明確さ | 誰（患者または医療従事者）が、何に困っており、その課題をなぜ解決したいのか。できる限り明確に記載する。例）患者→花粉症患者、医療従事者→花粉症を治療する医師など |
| 課題発生のメカニズム | 例）花粉症花粉症は、免疫系が花粉を異物と誤認識して過剰に反応するアレルギー反応の一種である。①感作（初回の花粉接触）花粉が体内に入ると、免疫系がこれを認識する。このとき、花粉の成分に反応して抗体（IgE）が作られ、肥満細胞に結合する。②再度の花粉接触（アレルギー反応の引き金）次に花粉が体内に入ると、IgE抗体が花粉をキャッチし、肥満細胞が活性化される。③化学物質の放出活性化された肥満細胞からヒスタミンなどの化学物質が放出される。これらの物質が鼻や目の粘膜を刺激し、アレルギー症状を引き起こす。④症状の発生ヒスタミンなどの作用で、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみといった症状が現れる。 |
| 既存の解決方法の有無 | 有・無 |
| 既存の解決方法の詳細 | 例）花粉症患者に対する鼻アレルギー治療法における既存の解決方法・漢方、点鼻薬、内服薬、免疫療法、レーザー、手術・それぞれがどれくらいの割合を占めているのかも記載されていれば尚良し |